



This is our **Communication on Progress** in implementing the principles of the **United Nations Global Compact** and supporting broader UN goals.

We welcome feedback on its contents.

**ENCORE!ANN**

<http://eai.jp>

# 株式会社アンコール・アン Communication on Progress

対象期間：2018年9月～2019年9月

## 連絡先

株式会社アンコール・アン 営業部 猿ヶ澤 学  
E-mail:sarugasawa@eai.jp 電話：03-6661-7271 FAX：03-5642-6021

## トップステイトメント

弊社は2015年9月に国連が提唱している国連グローバルコンパクトの10の原則を支持し、参加を表明しました。

引き続き、国連グローバルコンパクトの10原則を支持し、企業活動を進めてまいります。

人権・労働・環境・腐敗防止と社会的価値観を共有し、ビジネス社会に置いての基本を守り、社会に貢献する。

世界中にある、オーガニック原料素材を見つけ、開発し環境にやさしい原料素材を提供することにより、社会に貢献する。

存続することに意義を見出し、腐敗防止に関する法律を遵守し、持続可能な企業活動を行う。

 署名

伊豆味 きみ子 (Izumi Kimiko)

代表取締役 (President)

2019年9月20日

## 会社概要

会社名：株式会社アンコール・アン

所在地：東京都中央区日本橋小伝馬町17-13

創業：2000年3月

資本金：3,400万円

代表者：代表取締役 伊豆味きみ子

従業員数：33名

事業内容：化粧品原料卸売販売業、健康食品原料卸売販売業、化粧品製造販売業。  
化粧品原料卸販売、健康食品原料卸販売、化粧品製造及び  
化粧品製造販売を主な業務としています。  
オリジナル原料として、オーガニック素材のアルガンオイル、  
沖縄の海泥や国産エキスなどを製造販売しています。  
原料販売では、オリジナル原料販売のメーカー機能と、顧客  
のニーズにお応えする商社機能の両面を持ち、製造部門では  
企画機能を備え、顧客のご要望に沿った商品を提供しています。

人権	<p>企業は、</p> <p><u>原則 1</u>：企業は国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、</p> <p><u>原則 2</u>：自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。</p>
労働	<p>企業は、</p> <p><u>原則 3</u>：企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、</p> <p><u>原則 4</u>：あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、</p> <p><u>原則 5</u>：児童労働の実効的な廃止を支持し、</p> <p><u>原則 6</u>：雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。</p>
環境	<p>企業は、</p> <p><u>原則 7</u>：環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、</p> <p><u>原則 8</u>：環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、</p> <p><u>原則 9</u>：環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。</p>
腐敗防止	<p>企業は、</p> <p><u>原則 10</u>：強要や贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。</p>

人権・労働・腐敗防止分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	評価	来年度の活動目標・内容
<p>従来取り扱いをしていたオーガニック原料（モロッコのアルガンオイル）について、2015年に、CSRの一環としてフェアトレードの認証を取得。商品代金と別にプレミアム料を支払っており、そのプレミアム料の活用は、モロッコの生産現場の従業員が、新たな収入を得るための場所の提供と設備を整え、生活向上のサポートに役立った。</p>	<p>ポンプ室を建設、液滴灌漑システムを設置。収穫の量を増やし干ばつの悪影響を減らすことが出来た。</p>	<p>引き続き、人権・労働・腐敗防止に関する分野としてフェアトレードの取引を充実させる。</p> <p>G C N J の文化活動に社員を積極的に参加させ、より多くの取引先に人権・労働・腐敗防止について推奨していく。</p>
<p>2018年よりカンボジアへの募金活動を開始。その募金活動によりカンボジアの農村地帯に井戸を設置および学校を建設した。</p>	<p>井戸の設置場所は、より水を必要とする貧しい農村であり現地の生活改善に貢献している。</p>	<p>カンボジアの現状は未だ多くの人が不衛生な水を使い生活している。その為、募金活動を継続し井戸の設置を増やしていく。また、校舎数の不足を解消して子どもたちが勉強できる機会を増やしていく。</p>

環境分野に関する活動報告

本年度の活動目標・内容	評価	来年度の活動目標・内容
<p>引き続き、環境については、前年度から継続して社内の美化活動と共に、ゴミの減少を目標にして、不要なコピーを削減し、また必要書類のスキャン（PDF化）を推奨して社内の環境整備に努めた。</p> <p>継続して工場内での節電を啓蒙し、且つ、時間を大切にした生産活動を奨励して、従業員の残業時間を軽減し、使用電力の削減に努めた。</p>	<p>継続してコピー用紙削減とゴミの減少ができた。</p> <p>使用電力減少ができた。</p>	<p>日常生活で意識してできることの改善として節電やリサイクルの啓蒙を行う。</p> <p>生産現場での環境に対する更なる意識向上を啓蒙し、環境に配慮した品質管理をして廃棄物の減少に努める。</p> <p>印刷行為を減らし、更なるペーパーレス化を図る。</p>